

「医教連携による 緊急対応ワークショップ」

—エピペン®注射器シミュレーターと児童マネキン人形を用いて—



参加費
無料

日時 平成31年2月6日水

13:30～15:30 受付13:00～

会場 文部科学省「情報ひろばラウンジ」(旧文部省庁舎1階)

主催／愛知教育大学 協力／藤田医科大学

プログラム

13:30
～
13:40

開会あいさつ

13:40
～
14:20

研究発表Ⅰ

「食物アレルギーの基礎とアナフィラキシーの症状」

藤田医科大学 地域連携教育推進センター長 医学部地域医療学教授 石原 慎

14:20
～
14:50

ワークショップ

「実技トレーニングデモンストレーション」

藤田医科大学 地域連携教育推進センター長 医学部地域医療学教授 石原 慎

愛知教育大学 養護教育講座 准教授 岡本 陽

14:50
～
15:10

研究発表Ⅱ

「学校におけるアレルギー対応の体制」

愛知教育大学 養護教育講座 准教授 岡本 陽

15:10
～
15:20

質疑応答

15:20
～
15:30

閉会あいさつ

趣旨

食物アレルギーの症状には、アナフィラキシー症状など、子どもの命にかかわるものがあり、学校現場での即時対応が求められます。補助治療剤であるアドレナリン自己注射薬は教員も打てるようになっていますが、万が一の時、果たしてどれだけの教員が自信をもって適切に対応できるでしょうか。

愛知教育大学は、2015年3月に医教連携を深めていくことを目的として、藤田保健衛生大学(現 藤田医科大学)と連携協定を締結しました。医療・医学と教育の連携を生かして、子どもの健康課題をはじめ様々な課題に対し研究を進め、地域社会への貢献につながることが期待されます。

今回のイベントでは、愛知県内での実施で好評を得ている食物アレルギー緊急対応ワークショップを実施します。医教連携によって開発したエピペン®注射器シミュレータと児童マネキン人形を用いて、アナフィラキシーショック症状への対応を行う上で必要な実技と知識を習得し、事例検討からの体制構築や情報共有のあり方などを学習することで、学校教育現場における緊急時のあり方などを考える機会にします。

【参加申込】 締め切り／平成31年2月4日(月) 定員30名(先着順)

申込方法／下記必要事項をご記入のうえ、E-mailまたはFAXにてお申ください。

申込先／愛知教育大学 広報・地域連携課 広報・涉外係 宛

[E-mail] kouhou@m.auecc.aichi-edu.ac.jp [FAX] (0566) 95-0012

*E-mailでのお申込の場合、件名に「情報ひろばイベント申込」とお書き添えください。

*会場の都合上、申込多数によりお断りする場合がありますので、了承ください。

*連絡先については、お断りの連絡のほか、悪天候等による中止連絡の際にも使用しますので、勤務時間外にも連絡が取れる電話番号・メールアドレスをご記入ください。

氏名	(ふりがな)		
職業	<input type="checkbox"/> 学校関係 (学校名: _____) <input type="checkbox"/> その他 (_____)		
参加動機	<input type="checkbox"/> 職業上食物アレルギーの知識が必要なため <input type="checkbox"/> その他 (_____) <input type="checkbox"/> 家族に食物アレルギーを持つ方がいるため		
連絡先	自宅電話番号		携帯電話番号
	E-mailアドレス		

お問い合わせ先

愛知教育大学 広報・地域連携課 広報・涉外係

〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1番地

TEL: (0566) 26-2738 FAX: (0566) 95-0012 E-mail:kouhou@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

アクセス

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2



- 銀座線「虎ノ門駅」11番出口 直結
 - 千代田線「霞ヶ関駅」A13番出口 徒歩5分